

一般質問通告一覧表

平成28年9月第3回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨
小川 日出夫	(1) 公立幼稚園、保育所の一本化について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の加速により、園児入園数が減少している中、幼稚園・保育所の適正数について聞く
	(2) 淡輪・深日・多奈川小学校の統合について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校児童数の減少により、今後の小学校の在り方を問う
	(3) 駅前整備及び庁舎移転について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内にある全ての駅前整備について問う ・ 庁舎の耐震状況、建替え移転について考えを問う
奥野 学	(1) 岬町水道料金について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、大阪府下で3番目に高い料金となっているが、少しでも安い料金とすることができないのか？
	(2) 道の駅「みさき」整備工事関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同施設の合併浄化槽から排出される汚水・雑排水が地元水利組合のかんがい用水路に放流することであるが、水利組合との協議を終えたのか？ ・ 夕野池・カイカ池埋立に伴う今後の維持管理について
田島 乾正	(1) 岬町の農政問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岬町における専従農家・兼業農家の実態を把握されているのか。 ・ 岬町の農地面積・耕作面積について把握されている実態数。 ・ 専従農家・兼業農家等の平均年齢。 ・ 岬町農業委員会の開催現状について。
	(2) 岬町役場庁舎の建設計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ来るか分からない東南海地震に対する危機感を持たれているのか、危機感を持たれているなら、どのような防災計画案か。 ・ 災害に強い庁舎建設には建設費がかさむが、建設基金の現状をお尋ねします。 ・ 岬町役場新庁舎建設場所について検討をされているのか。また、町有地の有効利用についても考えているのか。
竹原 伸晃	(1) 町営住宅の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町営緑ヶ丘住宅への入居促進策について ・ 緑ヶ丘以外の町営住宅の運営計画について ・ 各種団体やNPOとの連携について
	(2) 新教育長制度へ移行するにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の教育委員会制度との相違点について ・ 行政が新教育長に求める役割について ・ 未来へ向かって明るい教育現場づくりを

質問者	質問事項	質問の要旨
松尾 匡	(1) 木造化・木質化の促進について	<p>化石資源使用量を削減することにつながり、地球温暖化防止と持続可能社会の構築に大きく貢献する木造建築。</p> <p>木は再生可能資源であり、林業や水源等の保全・災害防止になることから、現在全国各地で木造化・木質化が見直され推進される中、岬町としても耐震に問題のある役場庁舎をはじめ岬町が保有する建物の木造化・木質化の可能性を検証します。</p>
	(2) 岬町の観光と産業の振興について	<p>岬町の観光振興について、以前に幾度か一般質問で取り上げましたが、以前～現状から今後の具体的な動きなどをお聞きし、検証します。</p> <p>また衰退の一途を辿る岬町において、産業に活気を取り戻さなければいけません。</p> <p>行政は産業をどう振興させようとしているのかをお聞きし、岬町の活性化策について検証します。</p>
和田 勝弘	(1) 岬町役場前の信号機の調整について	<p>この信号機は、設置されてから長年になり、現在に至っております。この信号機は、黄色の点滅信号であり、事故の危険性が高いと考えられるので、何らかの対策が必要と思うが調整はできるのか。</p>
坂原 正勝	(1) 0歳児のB型ワクチン接種について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢の拡充について
	(2) 教育行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園バスについて
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合教育会議と教育委員会の違いは
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合教育会議で管理職や教職員の声は会議にどのように反映されるのか。また、小中一貫校について会議での方向性は
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6・3制度の改革について 		
中原 晶	(1) コミュニティバスについて	<p>今年度から、町が実施主体として運行しているコミュニティバスについては、継続を歓迎する声と合わせてさまざまな意見や要望が寄せられている。岬町地域公共交通会議で確認されている「将来目標」を実現するために、「具体的施策」の推進が求められており、住民の要望にこたえるさらなる改善が必要ではないか。</p>
	(2) アスベスト(石綿)被害の救済について	<p>泉州地域には過去に石綿工場が集中していたこともあり、アスベスト(石綿)による被害や患者が多く存在する。運動を通じて、現在では健康被害への一定の補償がなされているが、制度そのものが知られておらず、救済されるべき患者が放置されている事態が考えられる。岬町としても、実態の把握や制度の周知に努め、被害の確実な救済のための努力をはかるべきではないか。</p>
	(3) 太陽光発電事業について	<p>ここ数年、岬町内での太陽光発電事業が進んでいる。民間の事業活動でありそれ自体を否定するものではないが、現時点では開発にかかる法的規制が整っていないことから、将来、“乱開発”につながる懸念がある。また、近隣住民への事前の説明が不十分であったり、景観を損なうといった住民からの意見も寄せられており、今後進出する太陽光発電事業においては、何らかの町独自の規制を検討する必要があると考えるが、町の考えはどうか。</p>